

カバーガラスの一端を、スライドガラス上になすりつけると、血液をうすく塗ることができる。

### ② 固定

血液を塗ったプレパラート（以下塗まつ標本という）が乾いたら、メチルアルコールを1～2滴かけて塗まつ面にひろがらせ、2分間放置した後にろ紙でアルコールを吸いとり、自然に乾かす。

### ③ 染色

血液の塗まつ標本にエオシナルコール溶液を充分かけ、4～5分間染色した後、すぐに水洗いしてエオシンを流してから、メチレン青水溶液を充分かけて1分間染色し、速やかに水洗いしてメチレン青を流し、余分の水はろ紙で吸いとり、自然に乾かす。

### ④ 脱水、封入

乾燥した塗まつ標本を90%アルコールと、100%アルコールにそれぞれ5～6秒間入れて脱水した後、キシロールに1～2分間入れて取り出し、カナダバルサム液を1滴たらし、カバーガラスをかけて封入してから検鏡する。

(4) 観察には、低倍率からはじめ、高倍率（400～600倍）で検鏡する。

### (5) 血球の形・大きさの測定

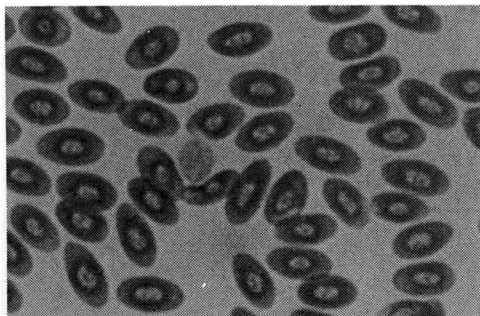
赤血球と白血球の形を観察し、接眼・対物マイクロメーターを用いて、その大きさを測定する。

## 3 結果と考察

一時プレパラートの場合は、血球はみな一様にだ円形をして、うすいオレンジ色に見える。

永久プレパラートの場合には、写真-5のよう

写真-5 ヒヨコの赤血球と白血球（×600）



に、赤血球は非常に数が多くだ円形をしており、まわりはうす赤色に、中央の核は青紫色に染色されて見える。

白血球は非常に少なく、ほぼ円形をしており、まわりは白色で、中央の核が青色に染色されて見える。（図-5）

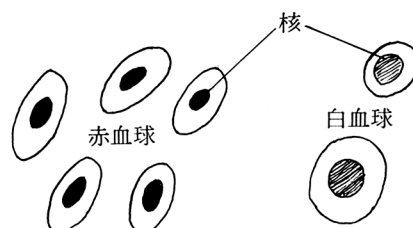


図-5 赤血球と白血球（ヒヨコ）

表-1 赤血球の大きさ

径 No.	1	2	3	4	5	6
長径 $\mu$	12.7	12.0	12.0	12.0	12.5	12.5
短径 $\mu$	5.3	5.8	6.7	7.2	5.8	7.2

径 No.	7	8	9	10	平均
長径 $\mu$	11.5	12.5	12.5	12.7	12.3
短径 $\mu$	6.5	7.2	7.2	7.4	6.6

表-2 白血球の大きさ

径 大小の別	大	小
長径 $\mu$	12.5	9.1
短径 $\mu$	10.1	7.2

表-1, 2は、いずれも倍率 600倍で計測したものである。

この表で、赤血球の大きさは、よく見るとまちまちで、大きいのは、長径 $12.7\mu$ 、短径 $7.4\mu$ から小さいのは長径 $11.5\mu$ 、短径 $6.5\mu$ で、平均では長径 $12.3\mu$ 、短径 $6.6\mu$ ぐらいになっているのがよくわかる。白血球でも、大きいのと小さいのではかなりの違いがみられる。